朝日新聞一下四日十八月年九日第一日本本

## 新序明在軍備會開人

座長仁末次大将指名

國民侍望。新体制理尽。近衛聲明仍三人日午在二時 新体型第一回華儒会の原会と使って近衛内面端 理大臣の名を以つり中外に改成表と川に、この日本員長をう 山庸首相只信的合例像、民间代表三五本員、管正幹 事七九八日相前任一一首招官部以於集、官師二階大太 同の食場にはは衛者相下中心と特に自由問業への 心達のから席の配置にり国王しい形式を遊り國民養養 体制を産み出すに相應、際園気が早くと見らいる 出席者!

【政府問」は衛首担けいめた例像、打領法制局 長官、傷田書門官長 作八阿原官

民間則 後 蔡文夫、 有 其 類 家 伯、 并 用 樂 稱 界 捏切着次即、太田群造、永丰柳太郎、 前甲米截、因甲尽房、小川御太郎、金龙 庸夫、秋日清、麻生人、平智震、 京探 養、 八田喜明· 白鳥 敬夫 · 東次置、 橋本飲品、中野三剛、屬三莊久 岡崎 勉 古野伊王郎、高石真五郎 正月 以太郎、隋方竹虎 · 言五奉員 (大河内 正敬子口派行俠席)及口幹事後際 隆之即氏

肝日新閉一下四〇年八月三十九日十十日本日本本

## 新体明在宇備會開人

座長に东次不得指名

國民侍望、新体制理念。近衛聲明仍三八日午在二時 新年里年 回年係分の所令下信しは衛内面将 理大臣の名を以つて中外に後来て川に、この日本員長をう 山庸首相只信的全例像、民间代表三五本員、常正許 事七九八日相前任——首相官即以於集、官師三階大太 同の食場にはは衛者相や中心と待に自由討議への 心達のから席の配置にり国をしい形式を強り国民真意 体制を産み出すに招際、際園園が早くし見らいる 出席者は

【灰府側」は衛首担けいめた河原、打頭は倒馬 長官、傷田書配官長 作的阿原官

民間側 一後蘇文夫, 有具類家由, 并用樂補景 握切着次即、太日群造、永丰柳太郎、 前甲米截、因田尽房、小川衛太郎、金光 庸夫, 秋日清、麻生久、平智、朦、 **芹塚 孝、八田喜明、白鳥 敬夫 末次還、** 橋本飲品、中野三剛、馬生能久 岡崎 勉 古師伊王郎、高石真五郎、正万 以太郎、隋方竹属 · 三五來 mx (大河内 正敬子口派行俠席)及口幹事後際 隆之即氏

明日新閉一下四八月三九日第日本京

## 新体制在库衛開人

麼長に來次大將指名

國民侍望。新体例理念。近衛聲明日三八日午在三時 新体動路|回華語会の原金と使いて近衛内面端 理大臣の名を以つり申外に後奏と川に、この日本員長をう 山庸首相只信的合例際、民间代表三五本員、常正許 事七九八日相前任一一首招官部以為集、官師二階大太 同の食場にはは衛者相下中心と特に自由討議への 心達のから席の配置にり国王しい形式を進り國民美養 体制を産み出すに相限、際園園が早くり見らいる 出席者 [

【政府側」は衛首招はいめを河原、打頭法側局 表官、屬田書門問及 日代所原

民間側」後膝文夫,有具類家由,并用樂楠景 怪切害次郎,太田群连,永年初太郎, 前甲米截、因甲尽疹、小川鄉太郎、金光 庸夫、秋田清、麻生久、平智寒寒、 京 養、 人 B 喜明, 白鳥 歌天 宋 凌屋, 橋本飲品、中野三剛、萬生能久 岡崎勉、古即伊之郎、高石真立即、正月 松太郎、請方竹馬 · 言五來員《大河内 正銀子內派行俠席)及口解事後際 隆之的人

定刻午官時用会等頭來員長止衛首相口草 衛方前に厂欠的声明下述べて用合の挨拶に代人 とが、首相にその中にだて、時類支服のためには強力 下了國民祖衛の樹立による異樣体制確立の会が称 ちる所以も力盗、論近しその具体化に対し連情 在の東がしの協力を要請した

次、諸事進行のとめ首相なり当日の座長として、不次大 将于指令、末次大特座長席につり就事に入る。 即与準備奉員と活隊は質疑が行けい之に 陳八八近衛首羽並に常任幹事 富田書記官長等 から説明よりかく一生回会合に於了は声明に感 られて新体制理念の同明な中心に具動しる論院

が展用された。